



あいご会報

2026年1月発行
No.347



フェイスブック



ホームページ

新年
謹賀

新年のごあいさつ

福祉型障がい児入所施設 しりべし学園

施設長 富樫 孝貴

謹んで新春のお慶びを申し上げます。また、平素より関係機関、地域の皆様及びご家族の皆様には、当施設運営並びに利用者支援に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今年は丙午の年となります。過去の午年を振り返ると、一九九〇年は社会福祉八法の改正により「契約制度」への移行の方向性が打ち出され、これは利用者の主体性を尊重する大きな変化となりました。二〇〇二年は翌年の支援費制度の全容が明らかになり、地域移行の流れが強まる一方で、社会保障費抑制の流れの中で様々な制度の見直しが議論された転換点となる年でした。二〇一四年は障害者権利条約の批准という重要な国際的な動きがあり、全ての人が平等に人権を享受できる共生社会の実現に向けた取り組みを一層推進することが国際的に公約されました。

さて、社会情勢は刻一刻と変化し、社会福祉法人を取り巻く状況も厳しいものとなっておりますが、二〇二六年はどんな年になるのでしょうか。「人間万事塞翁が馬」という諺があります。人の幸・不幸を予測することはできません。また、一見不幸に見える出来事が後に幸運につながったり、逆に幸運の前兆と思われたのに予想外の試練に見舞われることもあります。様々な出来事も長期的にみたら幸運につながると前向きにとらえ、目の前の出来事に一喜一憂することなく、健康に留意しつつ、職員一丸となり充実した1年にしていきたいと思ひます。

むすびになりますが、皆様方のお力添えをいただきながら、本年も利用者の皆様の思いに寄り添い、健全な運営に努めてまいりますので、本年も変わらぬご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。皆様にとって、幸多き一年となりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。

障がい者支援施設 しりべし学園成人寮

施設長 遊部 眞澄

新年あけましておめでとうございます。皆様には穏やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日ごろより当事業所の運営に際し、ご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、しりべしワークセンターセオス所属の利用者一名が、長年の功績が認められ「北海道知的障がい福祉協会会長賞」を受賞し、札幌での授賞式にも出席することができ、とても喜ばしい一年となりました。一つひとつ地道に努力を積み重ねたことに対して敬意を表します。

さて、今年は同一事業所の福祉型障がい児入所施設しりべし学園が開設六十周年の節目を迎えます。先達者が取り組んでこられた思いを振り返りつつも、時代に合った新しい事へのチャレンジも忘れずに歩を進めて参りたいと思ひます。ふれあい祭りについても記念事業として、皆様に楽しんでいただけるよう準備を進めて参る所存です。

障害福祉制度の中で「地域連携推進会議」の開催が令和七年度より義務付けられました。当法人の黒松内地区では、入所系・グループホームを主とする障害福祉サービスを提供する事業所が三拠点あるため、昨年十一月に合同での開催となりました。会議の構成員には、当事者や利用者ご家族、自治体職員を含めた地域の有識者等にご参画いただき、施設見学を中心に会議を進めたところです。施設見学後の意見交換でも、多岐にわたるご意見を頂戴いたしました。今年は頂いたご意見を参考に、利用者さんの幸せ実現に向けた取り組みを進めて参ります。

末筆になりますが、本年が皆様にとって明るく、活気ある一年となりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

10月25日(土)27日に滋賀県で開催された「全国障害者スポーツ大会」に、しりべし学園の加藤樹良君が、北海道代表として出場し、見事銀メダルを獲得しました。大会前に意気込みを聞くと「結果を意識しつつも、まず全力で楽しんでいきます」と話し、全国大会に挑んでいます。まさに言葉通り楽しんでプレーした結果、銀メダルは、本人にとって貴重な経験になったと思ひます。本人も「今まで経験したことがない緊張感の中でのプレーだったけれど、楽しむことができた」と話していました。改めて銀メダルおめでとう！



町役場へ報告の様子

皆が輝くしりべし学園
インタビュー
加藤 樹良 君
かとう じゅら

●**全国大会は緊張しましたか？**
何もかもが初めての中だったので、やっぱり緊張しました。

●**銀メダルを獲得した時の感想は？**
素直に嬉しかったです。でも自分一人の力ではなくて、監督やスタッフ、チームのみなさんのおかげで取れた銀メダルだと思ひているので、みんなに感謝の気持ちでいっぱいでした。

●**将来の目標を聞かせてください**
競馬のゲームや競馬中継を見るのが好きなので、馬に関わる仕事につきたいと考えています。好きな馬は、アーモンドアイとオルフェーブルです。また、好きな騎手は、クリストフ・ルメール騎手と坂井瑠星騎手です。



しりべし学園 クリスマス会



12月20日に開催したクリスマス会は、利用者さんの歌やバルーンアートほか、普段は聞けない職員達のカラオケバトルにみんなで大盛り上がり♪でもやっぱり、サンタさんからのプレゼント贈呈が一番の大歓声でした。



職員募集



詳しい採用情報はこちら

私達と一緒に働きませんか？楽しいお仕事です。
当事業所では、職員を募集しております。ご興味のある方は、裏面の連絡先まで、ご連絡ください。

フォトコーナー

しりべし学園



ハロウィンパーティー

利用者さんからの強い要望によりハロウィンパーティーが開かれました。みんなで魔女など様々な仮装をし、ボーリングやボール投げ、輪投げによるお菓子争奪戦が繰り広げられ、大盛況の中で幕を下ろすことが出来ました。



しりべし学園

ボーリング大会・外出支援

秋の外出支援は、ボーリング大会参加も兼ねてウイングベイ小樽へ行きました。結果、見事に団体・個人両方で1位、2位を独占という好成績を収めました。その後はお祝いの買い物&ご馳走タイムで楽しい外出支援でした。



初詣-はつもうで-



しりべし学園は長万部町の飯生神社へ、しりべし学園成人寮は黒松内町の大鳥神社に初詣に行きました。1年間無事に過ごせるように祈りました。



しりべし学園成人寮

クリスマス会



12月23日にクリスマス会を開催しました。岡久理事長をお招きし、クリスマスツリーに飾り付けを行なった後に、全員で写真撮影をしました。その後、利用者が楽しみにしていたクリスマスプレゼントを受け取り、皆さん笑顔に。各棟に分かれ、それぞれにお菓子などを食べて楽しんだ後、カラオケを歌いたい利用者さんが集まってそれぞれ熱唱されていました。また、今年も以前に成人寮に在籍されていた利用者のご家族様からも美味しいケーキを頂きました。改めて感謝申し上げます。



男子棟



女子棟

編集：(社福)黒松内つくし園/しりべし学園・しりべし学園成人寮広報委員会
TEL.0136-72-3173 (児童棟)・0136-77-2950 (成人寮)・FAX.0136-72-3952
寿都郡黒松内町字黒松内565番地2 ホームページ <https://tsukushien.or.jp/>

セオス 地域貢献事業

しめ縄交流会



12月6日に「ふらっと」にて、黒松内町社会福祉協議会と協力し、しめ縄交流会を開催しました。町内から9名の方と岡久理事長も参加され、リース飾りと神棚用ごぼう飾りを編みました。町民の皆様と利用者と一緒にしめ縄を編むことでコミュニケーションをとり、とても楽しい様子でした。



セオス

後志総合振興局 しめ縄贈呈式

12月19日、後志総合振興局において新年の幸せを願ったしめ縄が、岡久理事長、遊部施設長同席のもと、セオス園芸課でしめ縄作りに携わっている工藤友強さんから瀧川後志総合振興局長に贈呈されました。贈呈後、しめ縄作りの事や、園芸課作業の事など、同席された方々に説明し、「いつも素晴らしいしめ縄を贈呈していただきありがとうございます。」とお声を頂きました。贈呈させて頂いたしめ縄は大変好評で、後志総合振興局の正面玄関に飾られ、元旦を待つのみとなりました。新年も旧年に増してご愛顧賜りますようお願いいたします。



しりべし学園成人寮

登別マリンパーク外出

入所利用者の高齢化・重度化に合わせて行事の見直しや新たな企画に取り組んでいます。昨年のあいご会役員会でご家族から家族参加型の行事が少なくなったとご意見が挙がり、現在の利用者・職員状況でどのような企画ができるか職員間で検討を重ねました。今回は登別マリンパークニクスで日帰り旅行を発案し、15名の利用者と12名のご家族が参加されペンギンパレードやイルカショーを観覧したり、買い物を楽しまれていました。次年度以降どのような形で開催するか未定ですが、今回のように多くの方が楽しめる企画が出来ればと思います。



新入職員紹介!!

12月からインドネシアより特定技能実習生が入職しました

男子棟 ウエリヤン イブラ ブトラ ラマデヤニ



障害者支援の仕事を通して一人ひとりの個性や気持ちを大切に、安心して日常生活を送って頂けるよう努力して参ります。未熟ではありますが、日々学び誠実に取り組んで参ります。どうぞよろしくお願い致します。

男子棟 アガム スブハン アウラナ



新入社員として、こちらの事業所で働き始めました。職場の雰囲気良く上司や同僚の皆様も親切でとても良い印象をもちました。今後も学びながら会社に貢献できるよう頑張っていきたいと思っています。

温かいご寄付ありがとうございます

セコマ様 (クリスマスケーキ)



当施設の広報誌「あいご会報」では当施設へご厚志いただいた皆様の御芳名を掲載しておりましたが、個人情報保護の観点から個人の方のご厚志の掲載を控えさせていただきます。ご厚志に感謝いたしますとともに、心よりお詫び申し上げます。ご理解の程、よろしくお願い致します。